

コンピュータリテラシーⅠ

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2025年度	一般 マルチメディア科目群	山上 礼子	1年生 First Year	水曜日 3時間目	演習	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
本講座は、(旧)日タイ連の問題集の作成編集や複数の専門学校の教科書作成および各種PC検定の検定委員の実務経験を持つ教員が担当しています。 Windowsの基本操作と、WordおよびPowerPointの基本操作技術を身につける。 ・ブラインドタッチでキーボードの操作ができるようになること ・基本操作をショートカットキーで操作できるようになること ・社会人向きの検定試験基礎レベル以上の操作ができるようになること

その他

教科書	実教出版:30時間でマスター Office2021(Windows11対応)
参考文献	
学習内容 授業形態	演習形式。 ・キーボード操作 ・ブラウザの使用方法 ・Office アプリの使用方法 ・上記操作におけるショートカットキー 等 パソコン操作による演習になりますので、次回の授業までにしっかり復習し作業できるように練習をしてください。 また、専門用語を忘れないように覚えましょう。
留意点	実技授業のため遅刻は10分までとなります。十分注意してください。授業中に指定する課題はすべて提出期限があります。Teams内に提出期限を確認できるようにしますので、間違えないように提出してください。指定された期日を超えると提出するサーバーのフォルダがなくなり提出できなくなりますので注意してください。(Teams の課題に提出する場合も同様に期限切れになると提出できなくなります)
授業時間以外の学習	授業中に終わらなかった課題などは、提出期限に間に合うように授業時間外に学内PCや自宅で作業してください。初めての操作などは忘れないように復習するようお願いします。
評価方法	提出物:60点、実技テスト:30点、授業内容への取組:10点各点数の内訳が必要な場合は照会ください。総合判定となります。
実務経験と 科目の関連	この教科書を履修することにより、社会人向きの各種検定試験の基礎級までの実技試験内容が網羅されています。また、基礎級以上の検定級を受験希望される方でも知識科目とあつ少しの実務作業を覚えることにより上級試験も受験可能なレベルまで学習することができます。

※各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	講義内容説明・教室使用注意事項・テキストについて・学生サイトおよびwebメールログイン方法と画面の見方を知る。学内メールの設定をする(ビジネスメールの基本の土曜講座の案内)
2講目	Teams の使用についての説明・キーボード練習(ローマ字入力)①ブラインドタッチの基本と練習方法を学び実践します。(キーボードテストについての通知)
3講目	キーボード練習②Chromeのオプション設定・便利な使い方・プリントスクリーン・印刷について学びます。
4講目	キーボード練習③Word操作①Windowsの基本操作・キーボード名称・記号の名称Word画面名称・IMEツールバー設定を学びます。
5講目	キーボード練習④Word操作②ひらがな・カタカナ・アルファベット・文字削除・数字・記号・漢字変換・変換訂正を学びます。(教科書の問題で練習を行います)
6講目	キーボード練習⑤Word操作③特殊記号・数式の作成・IMEパッド・ページ設定・カーソルの動き・範囲指定・ヘッダーフッターを学びます。(教科書の問題で練習を行い印刷を試みる)
7講目	キーボード練習⑥Word操作④ビジネス文書の形式(構成要素)を学習する。書式設定(フォント・サイズ・太字・斜体・下線・色・両端揃え・中央・右・均等割付・拡大など)を学ぶ。(サーバー内の教材データを使用して編集作業の練習を行います)
8講目	キーボード練習⑦Word操作⑤書式設定(組み文字・蛍光ペン・インデント・箇条書き・段落番号など)を学習します。(サーバー内の教材データを使用して編集作業の練習を行う)
9講目	キーボード練習⑧Word操作⑥罫線処理(表挿入・編集)を学習します。(サーバー内の教材データを使用して編集作業の練習を行います)
10講目	Word操作⑦キーボードテストを行います(後日ランキング発表有)・罫線の作成と編集の学習を行います。(サーバー内の教材データを使用して編集作業と新規での作成作業の練習を行います)
11講目	Word操作⑧図形描画・ワードアート・図・スマートアート(挿入と編集)を学習します。
12講目	Word操作⑨図形の作成と編集作業を学習します。(サーバー内の教材データを使用して編集作業と新規での作成作業の練習を行います)
13講目	春学期の操作確認テスト&次週からの準備と内容説明・ペーパーではなく、画面上でデータを直接触って学習成果の確認をするためのテストです。学習してきた内容が作業できるかの確認ため教科書以外にネットやスマホも活用しましょう。採点後のデータおよび解答例のデータは、各自持ち帰ることができます。間違っている箇所があった場合は、どうして間違っていたのか確認しましょう。
14講目	PowerPoint操作①スライド作成・複写・移動・削除・レイアウトを確認し、スライド内への文字・図形・写真・グラフなどの挿入作業を学ぶ。(教科書のデータを使用します)
15講目	PowerPoint操作②作成したスライドにデザイン・アニメーション・画面切替の作業を学ぶ。音声と動画の挿入方法を練習する。(秋学期にデータの続きを使用しますので、メモリ内のデータをなくさないようにしてください)

中国語 LLⅢ①

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2025年度	中国語学科 専攻語学群	倉本 聖子	2年生 Second Year	水曜日 3時間目	演習	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
初対面の挨拶・紹介、買い物、食事、道案内、ホテル、銀行での基本的なコミュニケーションができる

その他

教科書	中国語聴力速成 入門篇 北京語言大学出版社
参考文献	授業中に適宜情報を提供する
学習内容 授業形態	基本的な単語、例文、慣用表現をマスター 聞き取り練習 会話練習 文化的背景や中国事情を理解 中国のドラマを通して実際の使い方を確認
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	出席30% 小テスト2回70%
実務経験と 科目の関連	

※各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	授業ガイダンス/実力テスト、
2講目	第一☐ 姓名和☐候 part2
3講目	第二☐ 数字和关系 part2
4講目	第三☐ ☐☐和日期 part2
5講目	第七☐ 学☐和☐好 part2
6講目	自己紹介
7講目	テスト①/ドラマの聞き取り
8講目	テスト①振り返り/単語マラソン
9講目	基☐篇 第一☐ ☐☐西
10講目	第五☐ ☐食part2
11講目	第六☐ 交通 part2
12講目	第八☐ 方位 part2
13講目	第九☐ 住宿和家居 part2
14講目	テスト②/ドラマの聞き取り
15講目	テスト②振り返り/単語マラソン

読解力養成講座Ⅰ

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2025年度	一般 一般教養科目群	薄雲 鈴代	2年生 Second Year	火曜日 2時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
☒ 評論文を通して読解のポイント(事実と意見の区別・文章構成・接続関係・対比・抽象と具体・演繹と帰納)を身につける。 ☒ 国内外の時事問題に敏感になり、それが自分とどう関係していくのか、自身の考えを深める。 ☒ 自分の考えを筋道立てて書ける(述べられる)。 ☒ 小学校・中学校で習う漢字語句の総チェック。

その他

教科書	語彙力ノート。適宜、評論文や新聞記事を資料として配布。
参考文献	授業で随時紹介します。
学習内容 授業形態	演習形式。毎時間、丁寧に読む練習を行い、要約文を書いていきます。また、語彙力を身につけるため、小中学校からの漢字の見直し、慣用句の意味などワークブックを毎時間課します。
留意点	講義形式の授業ではなく、毎時間の授業が「読む」「書く」の訓練と考えてください。したがって、出席が重要です。
授業時間以外の学習	半期授業のあいだに本を1冊読破し、感想文を提出すること。
評価方法	出席と提出物と期末(漢字語句)テストの総合評価
実務経験と 科目の関連	大学受験予備校で現代文読解と小論文対策を務めた後、高校の国語教師として大学受験対策を担当。

※各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	いま、日本そして世界が抱える問題を知る。ノート配布
2講目	新聞記事が正しい文章ではないことを知る。
3講目	評論文から語句を学ぶ グローバリゼーションとは
4講目	評論文から語句を学ぶ 食糧問題・外国人労働問題
5講目	評論文から語句を学ぶ 文化相対主義とは
6講目	評論文から語句を学ぶ 地球温暖化・パリ協定・持続可能SDGs
7講目	評論文から語句を学ぶ 地球温暖化を招いた歴史
8講目	評論文から語句を学ぶ 循環型社会とは 海洋汚染・森林減少砂漠化
9講目	評論文から語句を学ぶ 情報化社会の問題 ソーシャルメディア
10講目	評論文から語句を学ぶ AIの課題 知的財産権
11講目	評論文から語句を学ぶ 教育の自由と強制とは
12講目	評論文から語句を学ぶ 日本語・日本文化論Ⅱ
13講目	評論文から語句を学ぶ 日本語・日本文化論Ⅱ
14講目	評論文要約と論述
15講目	漢字・語彙力テスト 前期の課題から出題

タイ語 文字 I B

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2025年度	東南アジア言語学科(タイ語専攻)専攻語学群	一宮 孝子	1年生 First Year	火曜日 3時間目	演習	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
タイ文字の基本をマスターする。

その他

教科書	『タイ語読解力養成講座』(めこん)
参考文献	授業中に紹介する
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)アクティブラーニング
留意点	本学基準以上の出席はもちろん、下記の通り確実に実行のこと。
授業時間以外の学習	各課の単語と基本文は確実に暗記し、練習問題を解き、次回授業内容を予習した上で授業にのぞむこと。
評価方法	授業への取り組み(30%)、単語・基本文テスト(30%)、確認テスト(40%)
実務経験と 科目の関連	本校常勤講師、辞書の編纂・校正、学習書執筆、NHK大阪放送局制作番組翻訳、大阪府タイ王国首相歓迎夕食会通訳、タイ王国元日本留学生協会主催東芝国際交流財団助成金日本語セミナー講師等の経験を踏まえた語学教育を行う。

※各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	タイ文字の概説と授業の導入
2講目	タイ文字(1)・タイ語発音[頭子音]
3講目	タイ文字(2)・タイ語発音[母音]
4講目	タイ文字(3)・タイ語発音[尾子音]
5講目	タイ文字(4)・タイ語発音[声調]
6講目	第1課 マーリーは奈良に来る
7講目	第2課 マーリーはペーおじいさんを待つ
8講目	第3課 マーリーは頭が良い
9講目	第4課 太郎はマーリーを大阪へ連れて行く
10講目	第5課 マーリーは太郎を訪ねて行く
11講目	第6課 マーリーはフッフッと笑う
12講目	第7課 太郎とマーリーは桜を見に行く
13講目	第8課 太郎は二か月間タイ語を勉強してきた
14講目	第9課 太郎はテレビを見ていてミスタイを見た
15講目	確認テストとその解説及び今後の課題

Reading I ①

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2025年度	英米語学科 専攻語学群	武田 利枝	1年生 First Year	月曜日 3時間目	演習	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
英語で書かれた文献を読み適切に理解できるようになる。 文献の内容について自分の考えをまとめたりすすんで伝えたりすることができるようになる。

その他

教科書	松井夏津紀ほか(2022)『Guess What?! – Intercultural Surprise- 世界の衝撃アイテムから学ぶ15の国の文化と人々』南雲堂, ISBN978-4-523-17930-6
参考文献	授業内で必要に応じて紹介する
学習内容 授業形態	本文に出てくる単語を確認しながら語彙を増やす。本文の英文和訳を行い文法を確認する。リスニング、ライティングを含めた本文内容の確認問題を行い様々な問題形態に対応する。ディスカッションを行い異文化理解を通して自分の意見を発信する。
留意点	英和辞書を持参すること(電子辞書可)。またテキストを忘れた場合は必ず授業前にコピーして授業を受けること。隣の人にテキストを見せてもらいながら授業を受けること、またコピーではなくスマホで撮影したテキストの画像をスマホで見ながら授業を受けることは許可しないので注意すること。
授業時間以外の学習	予習および分からなかったところの復習を必要とする。分からなかったところは授業時間内外やTeamsチャットでも受け付けるので後回しにせずたずねること。
評価方法	課題提出や授業への積極的参加度…20%・平常の小テスト等…20%・中間テスト…30% ・期末テスト…30%
実務経験と 科目の関連	

※各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション(授業の概要と導入)、Unit 1
2講目	Unit 1 Canada: Natural Beauty Abounds
3講目	Unit 1 Canada: Natural Beauty Abounds
4講目	Unit 2 Thailand: Where Culture and Fragrance Harmonize
5講目	Unit 2 Thailand: Where Culture and Fragrance Harmonize
6講目	Unit 3 Germany: Leaders in Protecting Our Environment
7講目	Unit 3 Germany: Leaders in Protecting Our Environment
8講目	中間テスト
9講目	Unit 4 Turkey: Finish Up Your Coffee
10講目	Unit 4 Turkey: Finish Up Your Coffee
11講目	Unit 5 Russia: Home to the Coldest Place Inhabited by Humans
12講目	Unit 5 Russia: Home to the Coldest Place Inhabited by Humans
13講目	Unit 6 Israel: A land of Tradition and Technology
14講目	Unit 6 Israel: A land of Tradition and Technology
15講目	期末テスト

文化と言語 I

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2025年度	日本語コミュニケーション学科(留学生) 専攻教養群	花岡 慧	全員 Both	火曜日 2時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
本講座では、世界中に広がる言語の中でも特に影響力の大きな言語について取り上げることで、時間的・地理的なつながりを通して言語の関係について知識を深めることが目標である。
同時に、そういった知識を深めることによって得られる知見をもとに、言語や文化にまつわる事柄について自身でテーマを設定・調査・考察する形で期末課題としての小論文を作成することを目標とする。

その他

教科書	講師の方で資料を作成・配布
参考文献	梶茂樹他編著『事典 世界の言葉141』ISBN978-4-469-01279-8他 必要に応じてコピーを配布する
学習内容 授業形態	原則として講義形式で進めるが、適宜知識を問うたり簡単な論述などを授業内で行うことで自身の考えを形にすることで授業への参加を促していく。
留意点	Teamsの機能を授業に活用していくため接続可能な端末の持ち込みを推奨する。ただし講師の指示なく使用することないように注意すること。
授業時間以外の学習	期末課題のテーマに向けた資料の選定などを随時行っていくことが望ましい
評価方法	期末の論述課題を最大限の評価要素とする。日々の出席・授業への参加を2割、期末課題を8割程度の目安で評価を行う。単位認定に必要な最低限の出席日数を欠かさないように注意すること。
実務経験と 科目の関連	

※各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	ガイダンス
2講目	世界の言語事情・言語の比較に関する知識 1
3講目	世界の言語事情・言語の比較に関する知識 2
4講目	世界の言語事情・言語の比較に関する知識 3
5講目	ヨーロッパ諸言語について 1
6講目	ヨーロッパ諸言語について 2
7講目	ロマンス諸語の歴史的広がり 1
8講目	ロマンス諸語の歴史的広がり 2
9講目	ロマンス諸語の歴史的広がり 3
10講目	ロマンス諸語の地理的広がり 1
11講目	ロマンス諸語の地理的広がり 2
12講目	ロマンス諸語の地理的広がり 3
13講目	ロマンス諸語と相互の影響 1
14講目	ロマンス諸語と相互の影響 2
15講目	まとめ 補足

韓国・朝鮮語 表現法Ⅲ

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2025年度	韓国・朝鮮語学科 専攻語学群	郭 真希	2年生 Second Year	木曜日 2時間目	演習	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
韓国語の原文をしっかりと読み取り、誤訳を防ぐだけでなく直訳から一歩成長し意識翻訳ができるようになること。

その他

教科書	適宜プリント教材を配布する
参考文献	web漫画『愛犬の法則』
学習内容 授業形態	韓国語特有の言い回しなどを自然な日本語に翻訳する練習を行うことで表現力を育む。 作中で出てきた未学習の韓国語の単語は全員で意味を確認し、講師が解説を行うがセリフの訳は学生個人で行う。 また途中からは2人1組で1話分のセリフ全てを翻訳し自分なりの翻訳作品を作成予定。
留意点	欠席した分の翻訳は次の授業前までに必ず訳してくること。
授業時間以外の学習	翻訳に時間がかかる学生は授業時間外で進めておく必要あり。
評価方法	課題50%、テスト50%
実務経験と 科目の関連	翻訳実務経験をもとに日韓の漫画翻訳の相違点に着眼し、自然かつ実践的な翻訳スキルを教授する。

※各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	ガイダンス/翻訳の世界について
2講目	漫画翻訳における翻訳の留意点の解説
3講目	韓国語の原文を読み解く力を育む
4講目	本文に出てきた単語の表現力の違いについて
5講目	実践翻訳『愛犬の法則』第1話/部分翻訳
6講目	実践翻訳『愛犬の法則』第2話/1話の翻訳の反省
7講目	実践翻訳『愛犬の法則』第3話/翻訳時間の制限を設けた練習
8講目	実践翻訳『愛犬の法則』第4話/韓国語の擬声語擬態語について
9講目	実践翻訳『愛犬の法則』第5話/全セリフを翻訳する
10講目	実践翻訳『愛犬の法則』第5話/全セリフを翻訳する
11講目	実践翻訳『愛犬の法則』第6話/2人1組の翻訳作業
12講目	実践翻訳『愛犬の法則』第6話/2人1組の翻訳作業
13講目	実践翻訳『愛犬の法則』第7話/2人1組の翻訳作業
14講目	実践翻訳『愛犬の法則』第7話/2人1組の翻訳作業
15講目	翻訳試験/望ましい翻訳表現の解説

韓国・朝鮮語 表現法Ⅲ

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2025年度	韓国・朝鮮語学科 専攻語学群	郭 真希	2年生 Second Year	水曜日 4時間目	演習	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
韓国語の原文をしっかりと読み取り、誤訳を防ぐだけでなく直訳から一歩成長し意識翻訳ができるようになること。

その他

教科書	適宜プリント教材を配布する
参考文献	web漫画『愛犬の法則』
学習内容 授業形態	韓国語特有の言い回しなどを自然な日本語に翻訳する練習を行うことで表現力を育む。 作中で出てきた未学習の韓国語の単語は全員で意味を確認し、講師が解説を行うがセリフの訳は学生個人で行う。 また途中からは2人1組で1話分のセリフ全てを翻訳し自分なりの翻訳作品を作成予定。
留意点	欠席した分の翻訳は次の授業前までに必ず訳してくること。
授業時間以外の学習	翻訳に時間がかかる学生は授業時間外で進めておく必要あり。
評価方法	課題50%、テスト50%
実務経験と 科目の関連	翻訳実務経験をもとに日韓の漫画翻訳の相違点に着眼し、自然かつ実践的な翻訳スキルを教授する。

※各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	ガイダンス/翻訳の世界について
2講目	漫画翻訳における翻訳の留意点の解説
3講目	韓国語の原文を読み解く力を育む
4講目	本文に出てきた単語の表現力の違いについて
5講目	実践翻訳『愛犬の法則』第1話/部分翻訳
6講目	実践翻訳『愛犬の法則』第2話/1話の翻訳の反省
7講目	実践翻訳『愛犬の法則』第3話/翻訳時間の制限を設けた練習
8講目	実践翻訳『愛犬の法則』第4話/韓国語の擬声語擬態語について
9講目	実践翻訳『愛犬の法則』第5話/全セリフを翻訳する
10講目	実践翻訳『愛犬の法則』第5話/全セリフを翻訳する
11講目	実践翻訳『愛犬の法則』第6話/2人1組の翻訳作業
12講目	実践翻訳『愛犬の法則』第6話/2人1組の翻訳作業
13講目	実践翻訳『愛犬の法則』第7話/2人1組の翻訳作業
14講目	実践翻訳『愛犬の法則』第7話/2人1組の翻訳作業
15講目	翻訳試験/望ましい翻訳表現の解説